

柏崎刈羽原子力発電所3号機 高経年化技術評価書について

2023年1月23日

東京電力ホールディングス株式会社

柏崎刈羽原子力発電所

当所は、今年19日、原子力規制委員会の審査会合において、昨年8月9日に提出した3号機高経年化技術評価書に、「解析の誤り1箇所」、「設備情報の転記ミス18箇所」、「その他修正すべき設備情報131箇所」計150箇所の誤りがあり、訂正することを説明しました。

「解析の誤り1箇所」は、炭素鋼配管の腐食に関する耐震安全性の解析を行う際に解析プログラムの設定を誤り、正しい解析値とならなかったものです。この誤りについては、ただちに再解析の上、評価結果へ影響を及ぼさないことを確認し、すでに昨年9月15日に原子力規制庁へ報告しています。

ただし、当所としてはこの解析誤りを踏まえ、評価書の再調査を実施しました。

その結果、「設備仕様が記載されている設備図書等から評価書への転記ミス」を18箇所確認したことから、いずれも正しい内容で再評価し、評価結果へ影響を及ぼさないことを確認しております。

さらに並行して、評価書作成時に設備情報を確認できなかった箇所について、正確な設備情報を確認できたことから、今般131箇所を修正すべき箇所として報告しました。

なお、評価書作成時に3号機の設備情報を確認できなかった箇所については、設備の経年劣化や現状保全の妥当性を評価する高経年化技術評価結果に影響を与えない補足情報であることを一つひとつ確認しました。その上で、建設年代も近く、同じプラントメーカーである2号機の設備情報を参照しましたが、そのようなプロセスを評価書に記載していませんでした。

この点について、評価書提出時に原子力規制庁へその旨を説明し、他の手段・方法等も含めてご相談すべきであったと考えております。

当所としては、評価書を訂正の上、速やかに原子力規制委員会へ再提出するとともに、審査に真摯に対応してまいります。

以上